

イントラ SSL Type-L2(Wide) 利用者(PC Always-On)接続マニュアル

第 1.0 版(2026 年 5 月 7 日)

株式会社トヨタシステムズ

改訂履歴

日 付	版 数	改 訂 内 容
2026/5/7	1.0	初版作成

目次

1. はじめに	3
1.1 本書の目的	3
1.2 本書の適用範囲	3
2. 利用までの流れ	4
2.1 イントラ SSL Type-L2 利用までの流れについて	4
3. 端末の設定	5
4. 初回ログイン	7
5. 証明書 DL ツール導入	10
6. 証明書のインポート	12
7. Global Protect インストール	19
8. VPN 接続	22
9. Appendix	24
9.1 パスワード変更	24
9.2 管理者権限有無の確認	26

1. はじめに

1.1 本書の目的

本書は、トヨタシステム株式会社が提供するイントラ SSL Type-L2(Wide)サービスを Always-On 方式で使用する Windows 端末向けの接続マニュアルである。

Windows 端末のユーザが、システム接続に必要な証明書のインストール、クライアントソフトウェアのインストールなど適切な方法で実施できるようにすること目的とする。

1.2 本書の適用範囲

イントラ SSL Type-L2(Wide)サービスを利用する Windows 端末においてのみ適用することとする。

なお、本書に記載する画面イメージのユーザ名・表示内容等はサンプルのため、実際の画面は利用環境・設定内容に応じた内容が表示されます。

2. 利用までの流れ

2.1 イントラ SSL Type-L2 利用までの流れについて

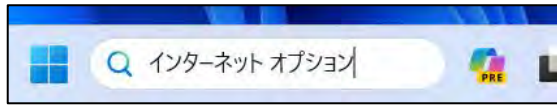
利用まで下記の段階を踏むことでアプリケーションが利用可能になる。

なお、認証方式は、ユーザ認証 (ID/PW) +クライアント証明書の多要素認証のみとなる。

本書の項番	実施事項
3	端末の設定
4	初回ログイン
5	証明書 DL ツール導入
6	証明書のインポート
7	GlobalProtect インストール
8	VPN 接続
–	アプリケーション接続

3. 端末の設定

事前にご利用端末が、以下設定となっていることをご確認ください。



(1)検索の入力枠のところに「インターネットオプション」と入力し、インターネットオプションを起動。



(2)「インターネット オプション」が表示されたら、Enter を押下。



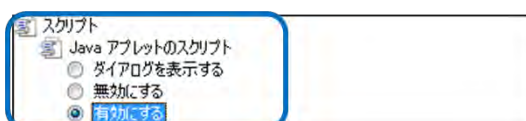
上記手順でインターネットオプションが出力されない場合は、Windows マークをクリック後、「inetcp1.cpl」と入力して Enter を押下。





(3)Javascript が有効であること

[インターネットオプション]>[セキュリティ]>[インターネット]>[レベルのカスタマイズ]



[Java アプレットのスクリプト]>[有効にする]

4. 初回ログイン

(1) 端末登録完了通知メールを受信

本メールはお客様管理者が登録しないと送付されません。

メールが届かない場合はお客様管理者へお問い合わせください。

送信元アドレス	イントラ SSL 運用窓口 <helpdesk@tns.toyotasystems.com>
宛先	利用者のメールアドレス
件名	[イントラ SSL]端末登録完了通知 (ID 名) YYYY/MM/DD hh:mm:dd



※メールサンプル

(2) 端末登録完了通知のメール本文のリンクをクリックし、以下 URL へ接続

URL	https://l2-ua.toyotasystems.jp
-----	---

1. 以下 URL をクリック
<https://l2-ua.toyotasystems.jp>
2. 初期パスワード、新しいパスワードを入力し、パスワードの登録
3. パスワードの登録後は以下 URL からログイン
<https://l2-ua.toyotasystems.jp>

※メールサンプル

(3) 端末登録完了通知のメール本文に記載の「接続 ID」と「初期パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリック。

※認証ページ

※メール本文

(4) ログイン後の画面から「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「新しいパスワード(確認)」を入力し「Change」ボタンをクリック。

- ・現在のパスワード: 初期パスワード
- ・新しいパスワード: 任意 ※8 文字以上英数字又は記号
- ・新しいパスワード(確認): 同上



以上で初期パスワード変更は完了です。ブラウザを閉じてください。

5. 証明書 DL ツール導入

(1)以下、URL へ接続

URL	https://l2-ua.toyotasystems.jp
-----	---



※接続後の画面



(2)「インポートアプリのダウンロード」をクリック。



(3)以下の画面に遷移するので、表示される手順に従って STEP1 から STEP9 までを実施。

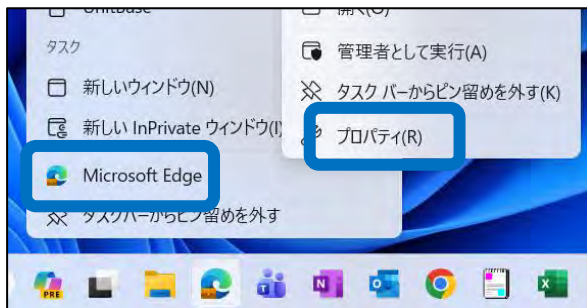


(4)最後に Edge の再起動を実施し、次の手順に進む

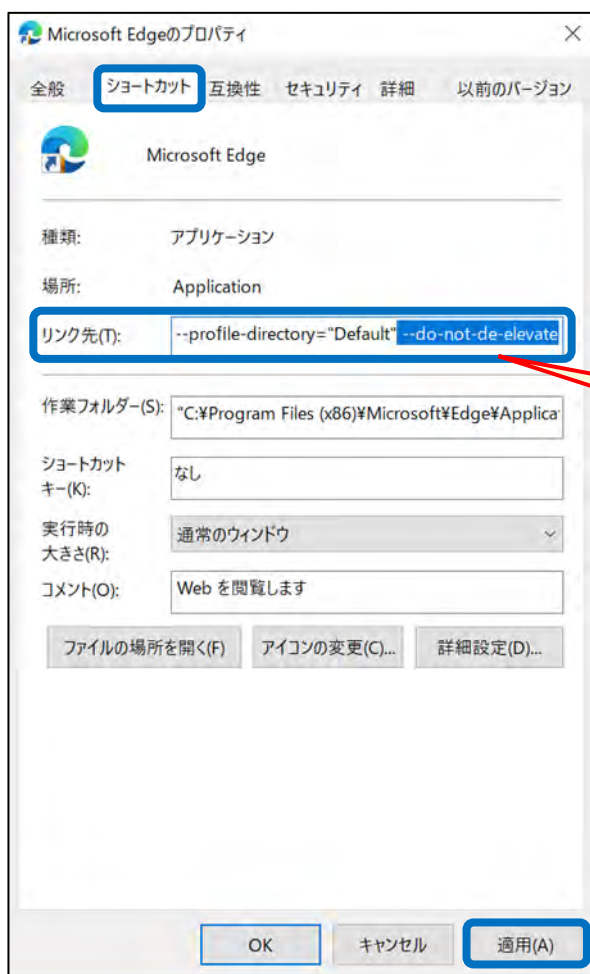
6. 証明書のインポート



(1)タスクバーの Edge アイコンを右クリックする。



(2)下から 2 番目に表示されている Microsoft Edge を右クリックし、その後表示されるプロパティを押下する。



(3) プロパティのショートカットタブにある「リンク先」に
「--do-not-de-elevate」
のパラメーターを追加後、「適用」をクリック

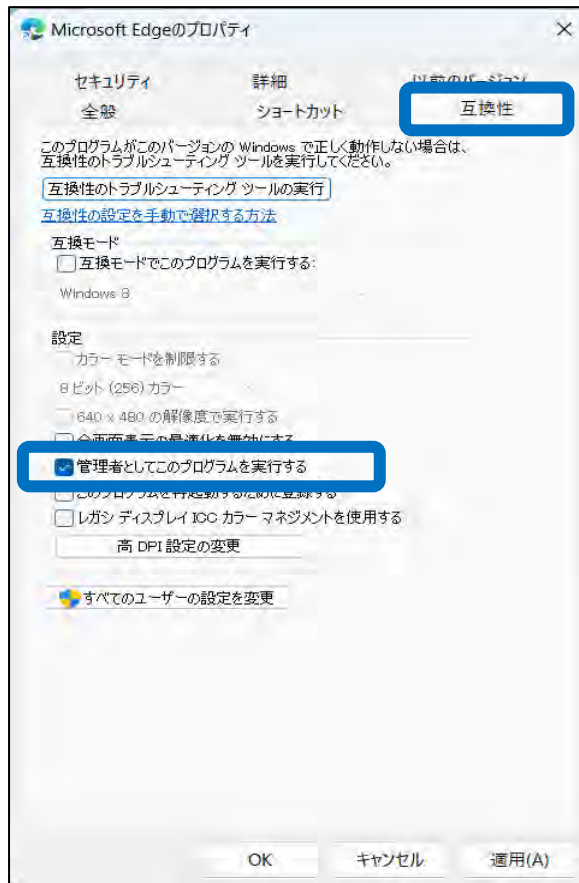
※注意※

「--do-not-de-elevate」を入力する際は、「半角スペース」
を入力した後、「--do-not-de-elevate」をご入力ください
入力例)

「半角スペース」+ 「--do-not-de-elevate」

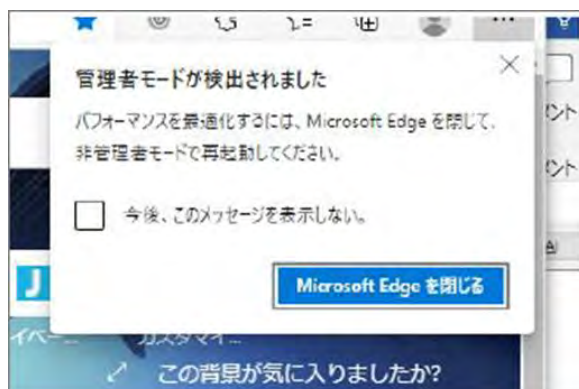
※注意※

「--do-not-de-elevate」を入力する際に、必ず
「半角スペース」を入力した後、「--do-not-de-
elevate」を入力ください



(4)プロパティの互換性タブにて

「管理者としてこのプログラムを実行する」をチェックし
「 OK 」をクリック



(5) Edge を起動してください。

※起動済の場合は、再起動してください。

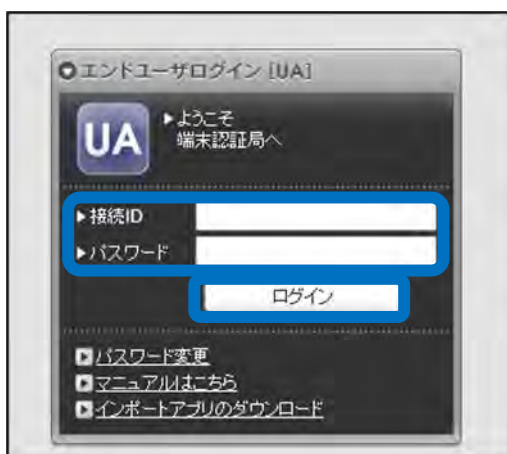
読み込み開始されない場合、もう一度再起動してください。

(6)以下 URL へ接続。

URL	https://l2-ua.toyotasystems.jp
-----	---



※接続後の画面



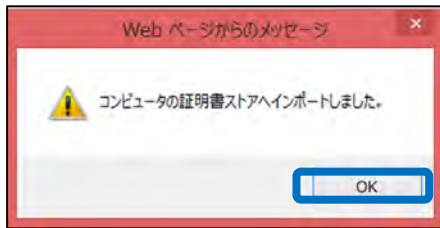
(7)「接続 ID」と「パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリック。



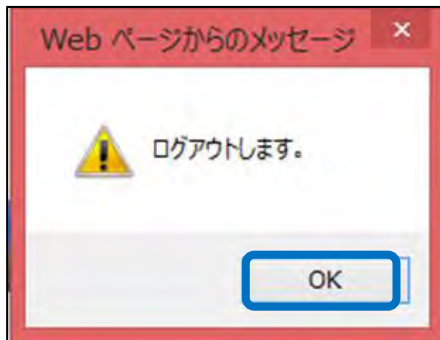
(8)ログイン後の画面から
「証明書のインポート」をクリック。



応答が遅い場合は、ブラウザを再起動することで解決する場合があります。



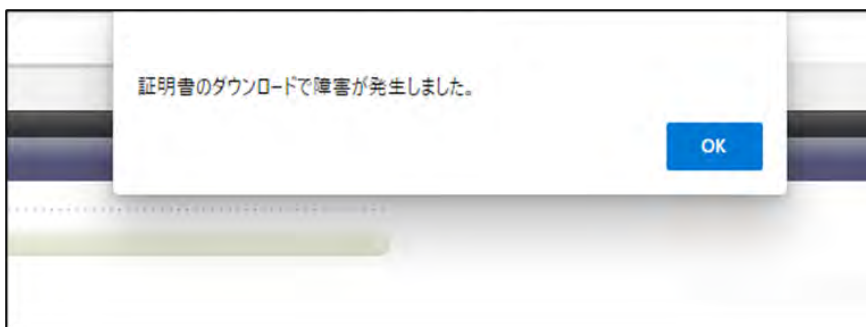
ポップアップメッセージが表示されるので「OK」をクリック



さらに、ポップアップメッセージの「OK」をクリック

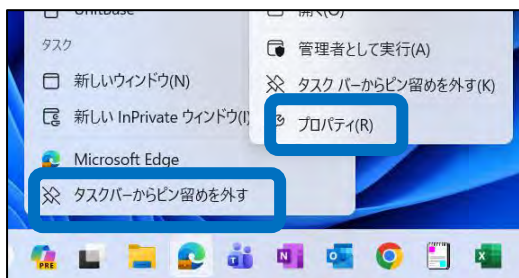


以下の画面が表示される場合、Edge の管理者権限が起動できているかを確認

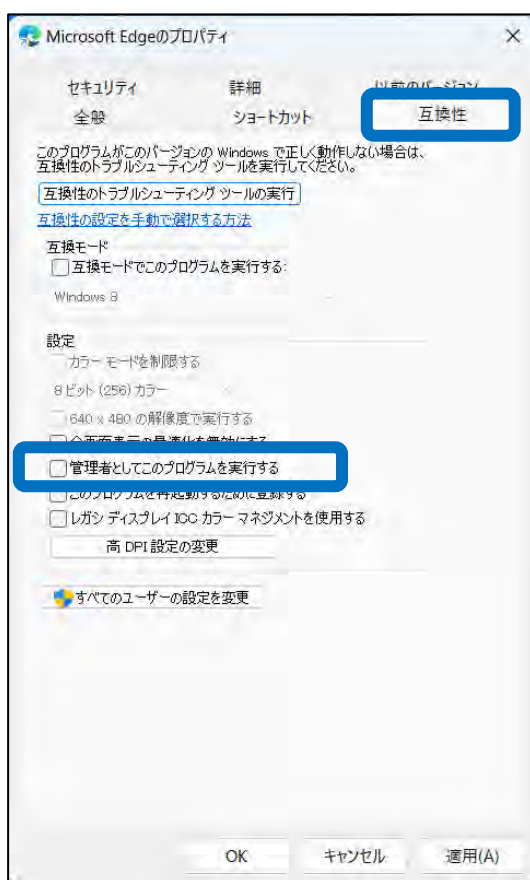




(9)タスクバーの Edge アイコンを右クリックする。



(10)下から 2 番目に表示されている Microsoft Edge を右クリックし、その後表示されるプロパティを押下する。



(11)プロパティの互換性タブにて
「管理者としてこのプログラムを実行する」のチェックを外し
「 OK 」をクリック

ご利用のアカウントに管理者権限が付与されていない場合、

以下の手順を実施してください。

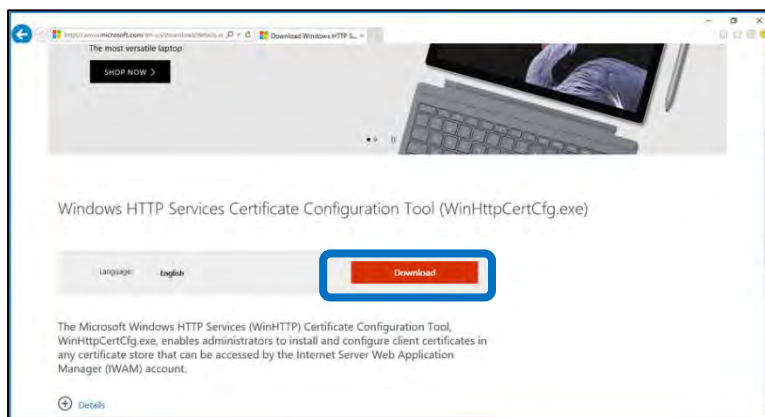
管理者権限が付与されている場合は次のステップへ進んでください。

※確認方法は 手順 10.3 管理者権限有無の確認 参照

(12)以下 URL へ接続。

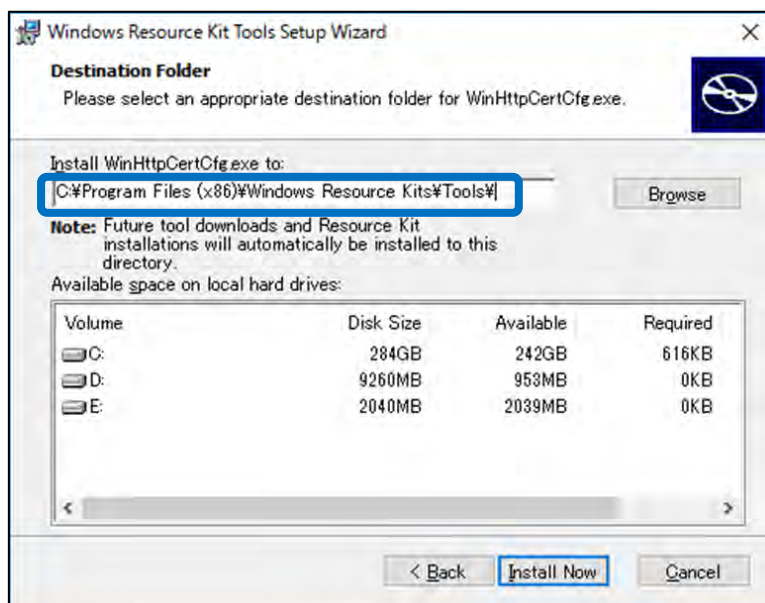
URL

<https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=19801>



(13) Download をクリックし、
winhttpcertcfg.msi をダウンロード

※画面イメージは異なる場合があります。



(14) ダウンロードしたファイルを実行し、
WinHttpCertCfg をインストール

※以降の手順で使用するため、インストール
先のフォルダをメモしておいてください。

(15) コマンドプロンプトを管理者権限で実行

(16) 以下のコマンドを実行

```
cd [(14)でメモしたパス]
```

```
winhttpcertcfg.exe -g -c LOCAL_MACHINE¥My -s [証明書の名前] -a [PC のアカウント名]
```

※証明書の名前は接続 ID と同じです。

(実行例)

```

管理者: コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Windows\system32>cd C:\Program Files (x86)\Windows Resource Kits\Tools\
C:\Program Files (x86)\Windows Resource Kits\Tools>winhttpcertcfg.exe -g -c LOCAL_MACHINE¥My -s 証明書の名前 -a PCのアカウント名
Microsoft (R) WinHTTP Certificate Configuration tool
Copyright (C) Microsoft Corporation 2001.

Matching certificate:
C=JP
S=Aichi
L=Nagoya
O="Toyota Digital Cruise, Inc."
CN=証明書の名前

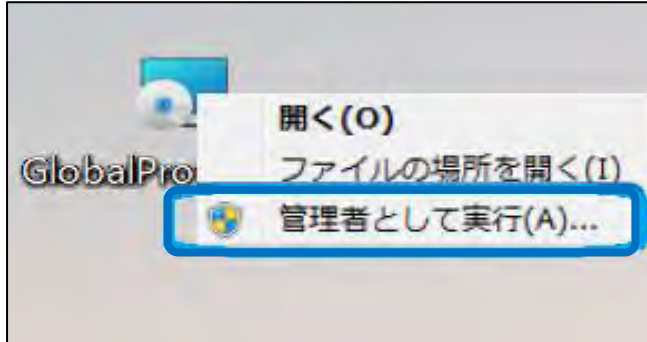
Granting private key access for account:
PCのアカウント名

C:\Program Files (x86)\Windows Resource Kits\Tools>
    
```

7. Global Protect インストール

(1) 以下 URL からサービスサイトにアクセスし、「イントラ SSL Type-L2」サービスをクリックして遷移後、VPN クライアントソフトのインストーラーをクリックし、ダウンロードする。

URL	https://www.toyotasystems.com/product-service/search/network
-----	---



(2) 保存した Global Protect のインストーラーを右クリックし、「管理者として実行(A)」をクリック



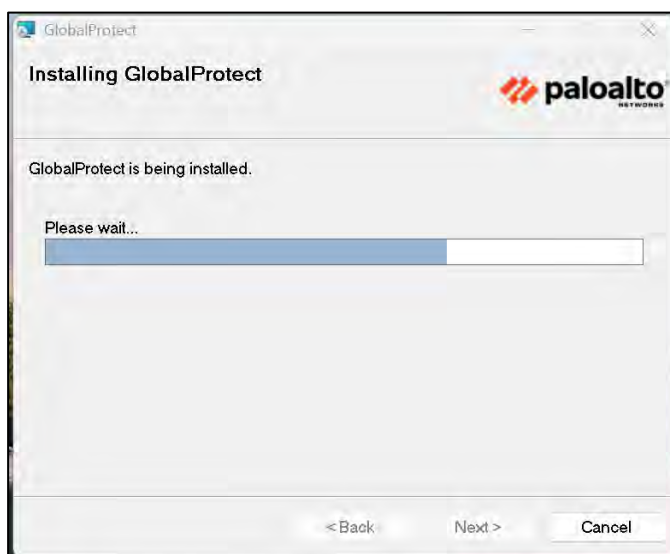
(3) 以下手順でインストールウィザードが実行される。
「Next」をクリック



「Next」をクリック



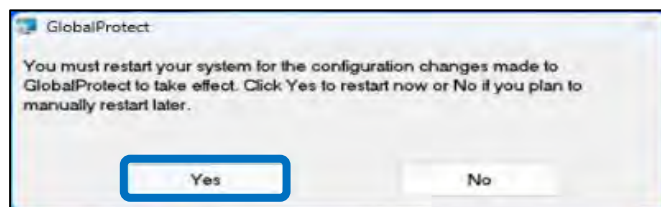
「Next」をクリック



インストールが開始されます



インストール完了後、「Close」をクリック



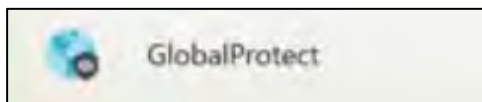
※再起動を要求するポップアップが表示された場合、「Yes」をクリックし、再起動を実行してください

以上で Global Protect のインストールは完了です。

8. VPN 接続



(1) 「スタート」から「すべて」をクリック。アプリケーション一覧を表示



(2) 「Global Protect」のアイコンをクリック

(3) 「Portal(ポータル)」に以下情報を入力し、「接続」をクリック

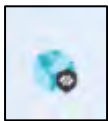
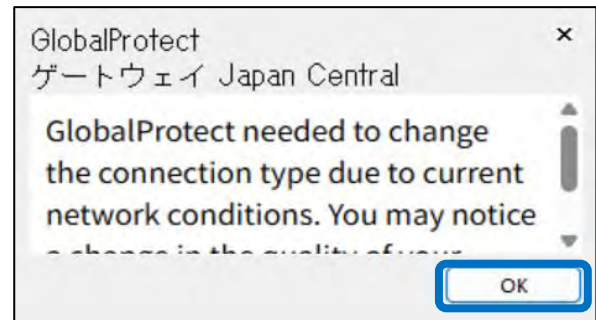
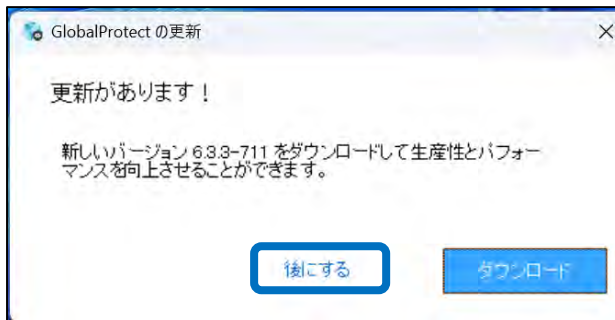
URL	Wide.gpcloudservice.com
-----	---



(4) 認証画面から「username」と「パスワード」を入力し、「接続」をクリック
※手順 4 で確認したイントラ SSL Type-L2 用のアカウントでログインしてください



接続中、以下ポップアップが表示された場合はダウンロードを選択せず、「後にする」、「OK」をクリックしてください。



(5)タスクバーにアイコンが表示されます



(6)アイコン上でクリックすると「接続済み」と表示されます。



以降、PC 起動時に上記接続済みが表示されます。上記認証が完了しないとインターネット接続ができません。

以上で接続は完了です。アプリケーションをご利用ください。

9 Appendix

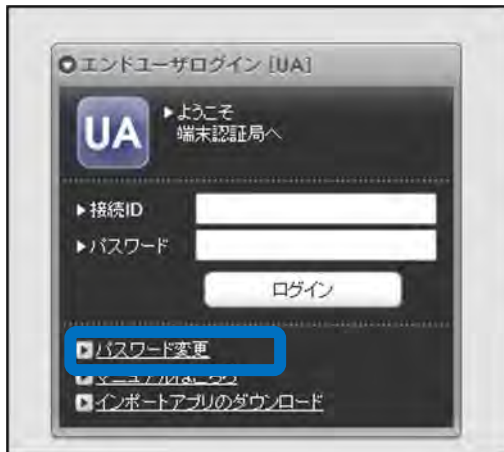
9.1 パスワード変更

(1)以下 URL へ接続

URL	https://l2-ua.toyotasystems.jp
-----	---



※接続後の画面



(2)「パスワード変更」ボタンをクリック

[パスワードの変更]

パスワードの変更

パスワードの入力

このページはパスワードの変更を登録を行います。
 フォームに接続ID、パスワードを入力してください。
 全項目入力必須です。空欄のフォームがある場合は、パスワード変更は完了しません。
 パスワードは6文字以上の英数字または記号で入力してください。
 その他のパスワードポリシーは下記FAQより「パスワードポリシーを教えてください」を参照ください。
[FAQ](#)

接続ID ★

現在のパスワード ★

新しいパスワード ★

新しいパスワード(確認) ★

Change

- ・接続 ID
- ・現在のパスワード: 初期パスワード
- ・新しいパスワード: 任意 ※8 文字以上英数字又は記号
- ・新しいパスワード(確認): 同上

[パスワードの変更]

パスワードの変更

パスワードの変更

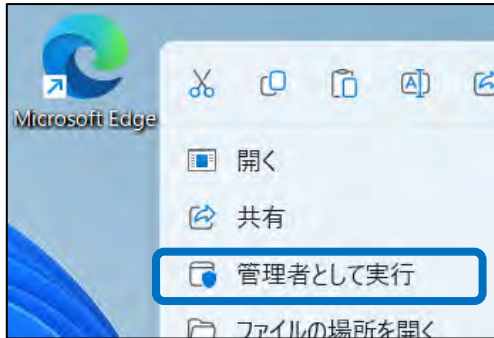
パスワードの変更が完了しました。
 ブラウザを開いてください。



現在のパスワードをお忘れの場合は、お客様管理者へパスワードリセットの依頼をしてください。

9.2 管理者権限有無の確認

「Microsoft Edge」など、任意アプリケーションのアイコンを右クリックし「管理者として実行」をクリック



管理者アカウント情報の入力を求められるユーザーアカウント制御の画面が表示された場合、そのアカウントに管理者権限はありません。システム担当者にご相談ください。